

仙台市博物館



所在地：宮城県仙台市青葉区川内26番地（仙台城三の丸跡）
 延床面積：10,800㎡
 構造・規模：鉄骨鉄筋コンクリート造、2階建
 設計：株式会社佐藤総合計画 東北事務所
 照明更新工事：株式会社みずほ電設工業
 更新工事完成：平成22年4月

S50

仙台伊達家から寄贈された「伊達家寄贈文化財」の保管・展示・研究のため、
 1961年に仙台城三の丸跡に開館した仙台市博物館。

総合展示室などの改修とともに、省エネと展示物の劣化を防ぐためにLED照明が導入されました。

伊達家資料のほか、仙台に関わる歴史・文化・美術工芸資料など約9万点を収蔵する博物館

伊達家寄贈資料のほか、仙台藩に関わる歴史・文化・美術工芸資料など約9万点を収蔵する仙台市博物館は、1961年に仙台城三の丸跡に開館し、1986年に全面改築。その後、2003年に仙台城址が国の史跡指定を受けたのに伴い、博物館の仙台城ガイダンス機能を拡充する基本計画を策定し、2009年9月から総合展示室の改修、天井部分の耐震補強工事などが実施され、2010年4月20日にリニューアルオープンしました。3つあった常設の総合展示室を「総合展示室」と「特集展示室」の2室とし、省エネや展示物の保存に有効なLED照明が採用されました。

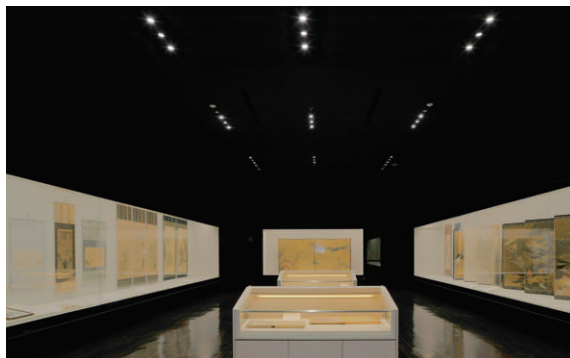
LEDダウンライトを採用し、展示物を保護しつつ鑑賞しやすくし、環境にも配慮

博物館の照明は、貴重な展示物の保護、損傷を防止することが重要であるため、熱・放射・光による影響の少ない光源の選定が必要であるとともに、来館者にとっては、展示物のガラスケース面に光源や背景が映り込まないようにするなど、目に疲れが生じない快適な鑑賞、観察のできる照明環境も大切な事項となります。今回の照明リニューアルにおいては、これらの条件を十分満足させると同時に、高い環境性能をもつ新時代の照明としてLEDダウンライトがベース照明に採用されました。極めて小電力で長寿命（40,000時間）、高演色（Ra92）、かつ熱線や紫外線がほとんど含まれていないLEDダウンライト900シリーズ（消費電力13.3W、器具光束690lm、相関色温度5000K）は、枠を黒色塗装（半ツヤ）として展示ケースのガラス面への映り込みを軽減。調光可能形と調光不可形を2:1にバランスよく配置し、通常展示では、ベース照明の照度は展示物の鑑賞、観察に妨げのない最適な明るさ（150～350lx）に調光（及び点灯パターン）にしています。

閉館後は、保守・点検を安全に、素早く、確実に行えるように、全点灯（及び100%調光）による明るい照明環境を可能にしています。



旧石器時代から中世、近世を経て近代都市となった仙台の様子を6つのゾーンで紹介している「総合展示室」 ベース照明は先進のLEDダウンライトに更新



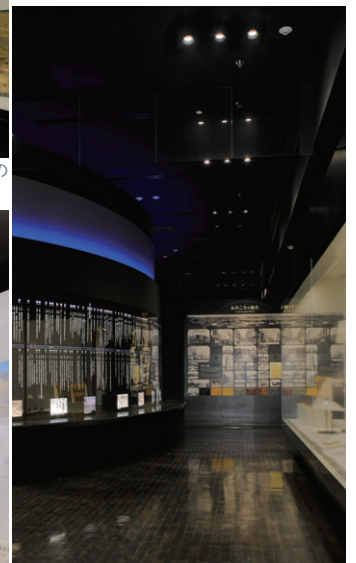
歴史の分野や美術の分野など様々なテーマを特集している「特集展示室」のLED照明



「仙台しろ・まち情報広場」のLED照明



ベースライトに採用されたLEDダウンライト900シリーズ



古写真や音声を通じて懐かしの仙台が実感できる「あのころの仙台」のLED照明

主な照明器具一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
総合展示室	LEDダウンライト（調光形）	LEDD-70004W-LD1K	53	LED 消費電力:13.1W 枠:黒色塗装（半ツヤ）
特集展示室	LEDダウンライト（調光不可）	LEDD-70004W-LSSK	102	LED 消費電力:13.1W 枠:黒色塗装（半ツヤ）